健診データを活用した疾病リスク予測業務
～データドリブンによる生活習慣改善策のアジャイル開発～
企画提案書作成要領

広島県が実施する，健診データを活用した疾病リスク予測業務～データドリブンによる生活習慣改善策のアジャイル開発～に係る企画提案公募（プロポーザル）に関し，プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおり。

なお，本件に関し，別途生活習慣改善に係る介入検証業務を調達中であることを勘案した上で，本件委託仕様書の趣旨に沿って提案すること。

1　企画提案時の提出書類

（１）企画提案書一式（任意様式）

①表紙

②業務立案提案書

③実施体制図

（２）事業予算見積書（任意様式）

本県業務の委託期間は，契約締結日から令和５年３月 31 日であるが，実証試験は令和５年11 月 30 日まで予定し，AI リスク予測の利用は令和５年９月 30 日まで予定している。

そのため，見積書には本件調達部分である令和４年度の事業予算見積書と令和５年度の概算事業予算見積書を作成すること。令和５年度の概算事業予算見積書については，令和４年度と同等の委託内容を見込むが，令和４年度に中に AI リスク予測した者は，引き続き令和５年度も予測表示をした上で，新たに AI リスク予測を行うことに留意して作成すること。

・当業務に係る所要経費を全て見積もること（消費税及び地方消費税相当額を含む。）。

・経費の内訳を記載すること。

（３）提出部数

企画提案書一式：正本１部，副本９部

事業予算見積書：令和４年度及び令和５年度について，正本各１部

2　企画提案書の作成方法

（１）提出書類は，原則として，原則Ａ４版両面使用とすること。ページ番号は，目次を除き通し番号とし，各ページの下部に印字すること。

（２）審査の公正を期すため，企画提案書の副本９部には，会社名，住所，ロゴマークなど，プロポーザル参加者を特定できる表示を付さず，別途通知する提案者記号を付すこと。実施体制図などには，プロポーザル参加者名を「当社又は当団体等」と記載すること。

（３）下記３に沿った構成及び記載内容とすること。

3　企画提案書の構成及び記載内容

（１）表紙（任意様式）

様式右肩に，参加資格確認通知の際に併せて通知する提案要請記号（アルファベット）を記入すること。

（２）企画提案書（任意様式）

仕様書で示した次の各業務に対する具体的な業務内容を記載すること。

・AI 予測のもととなるデータの内容，データ取得人数

・リスク予測の概要

・リスクの低減につながる生活習慣改善提案の内容

・今後の生活習慣を変化させた場合のシュミレーション予測結果の内容

・参加者への周知・導入方法について

（３）実施体制図（任意様式）

業務全体を監理する者及びその他の業務従事者について，指揮監督のあり方，配置，業務内容等を記載すること。

また，使用するデータ及び紙による健診結果の管理体制，システム障害，問合せ，セキュリティ事故に対する連絡体制を明らかにすること。

４　その他

本業務と同種又は類似業務の実績がある場合は，具体的に記載すること。